

## コダマコーポレーションが5軸・複合加工セミナーを開催 生産性向上につながるCAD/CAM活用を提案

コダマコーポレーション（横浜市都筑区）は7月11日（木）、羽村市産業福祉センター（東京都羽村市）で「経営者様のための5軸・複合加工セミナー」を開催した。定員の倍近くの40名ほどが参加した。

同社はフランスのミスラーソフトウェアが開発するCAD/CAMシステム「TopSolidシリーズ」の販売を手がけている。セミナーで小玉博幸社長は「TopSolidは経営全般に大きな成果をもたらす経営のツール。ぜひ、いいソフトを使って儲かる仕組みをつくっていただきたい」と力強く訴えた。

TopSolidは設計から製造までデータを一通貫して活用できるのが最大の特徴。製品モデルを修正するだけで、治具やツールパスも連動して修正される。また、2軸から5軸・複合加工までの加工に柔軟に対応、機械全体の動作をシミュレーションでき、手戻りのな

い加工を実現できる。

さらに同社では、インターネットを使用した遠隔操作によるリモートサポートや、効率的な運用のためのコンサルティングなど、ユーザーのサポート体制にも力を入れている。

セミナーでは製品の特徴の説明のほか、講師による実際の加工を想定したデモンストレーションが行われた。

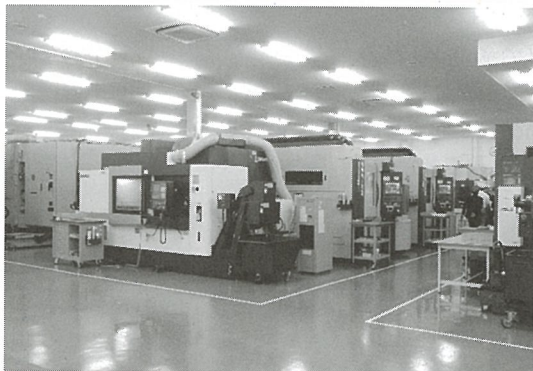
終了後は、試作部品を加工する同社の加工技術研究所（羽村市）の見学会も行われた。松浦機械製作所製のMX-330など5軸マシニングセンタ9台、オークマ製のMULTUS B300Ⅱなど複合加工機3台が設備され、段取りを除いて24時間無人で稼働している。今後さらに大型機を2台増設する予定だという。

同研究所ではアルミニウム、ステンレス、チタン、PEEKやPPSなどのスーパーエンジニアリングプラスチックの試作モデルを自在に加工している。20名の若手エンジニアがNCデータ作成から工作機械の操作までを担当。CAD/CAM技能認定や機械別操作認定の試験もあり、日々レベルアップを図っている。「今後も新たな素材の加工に挑戦し、医療や船舶など高付加価値なモノづくりを行う分野を開拓していきたい」と小玉社長。

同研究所で得られた成果や加工ノウハウは、TopSolidシリーズの開発にも活かされている。生産性向上につながるCAD/CAMの活用を今後も同社は訴えていく。



約40名が参加したセミナー



加工技術研究所内には5軸加工機と複合加工機が立ち並ぶ



加工サンプルも展示